事業完了報告書

提出日：　2023 年　6 月　6 日

１．事業概要

（１）資金分配団体名：一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社
（２）事業名：ひとまちげんき助成
（３）事業実施期間：
（４）実行団体名：①岬町人権協会②特定非営利活動法スイスイ・すていしょん③特定非営利活動法人人権尊重の矢田まちづくり委員会④一般社団法人タウンスペースＷＡＫＷＡＫ⑤特定非営利活動法人三島コミュニティ・アクションネットワーク⑥特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構⑦公益社団法人住吉隣保事業推進協会⑧一般社団法人富田林市人権協議会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☑ 全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

(2)	内部通報制度は整備されていますか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可）	
	☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
(3)	利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。	
(4)	関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。	
(5)	コンプライアンス委員会を設置していましたか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。	
(6)	ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。	
(7)	団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
	☑ 外部監査 ／☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 外部：薬師寺公認会計士 2023 年 4 月 6 日 内部：前田専務理事 毎月 1 回	
(8)	本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
	☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☐ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）		
広報制作物等	有	動画（2022.12.1 休眠預金活用シンポジウム）
報告書等	有	ファイナルレポート

5. 実行団体への事業完了時監査

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

実行団体への事業完了時監査は実施しましたか。
☐ 実施済み ／ ☑ 実施予定（完了予定時期：2023 年 5 月 ）
→上記で「実施済み」を選択した場合、どのような評価できる点や課題があったか、その他気づいた点などを記載してください。

6. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

・評価というツール（TOC 作成など）をおこなうことで組織が目指している目標や行動、課題・成果が視覚化できたことによって、自分たちは何を目的として運営しているのか再認識できるようになった。一方、これまでこのようなツールを使ったことがないこと、助成をおこなうことなど初めてのことであり、経験不足から理解するまで時間を要した。 ・実行団体の助成を通じて、社会課題解決に向けた活動には資金調達も必要だが、活動を担う人材が不足していることで、業務過多となっているのではないかとおもわれる。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

（全体研修会）
・実行団体のスキルアップや組織基盤強化ならびに
実行団体同士での意見交換などの交流を含めて
全体研修会を年に約３回実施いたしました。

（シンポジウム開催）
・2022 年 12 月 1 日に実行団体が休眠預金を活用して
おこなってきた３年間の成果を発表し、
関係機関とのつながりの場がもてるように
シンポジウムを開催いたしました。

（ラウンドテーブル）
・シンポジウム後に JANPIA や他の資金分配団体、
実行団体などの関係機関が集まって
交流をおこないました。
・この機会をきっかけに別日には他の団体へ
視察もおこないました。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。